

# ロジスティクスの未来をつくる

いま日本の物流システムは正念場を迎えています。物流現場でのドライバーなどの人材不足は深刻化し、生産性の向上は喫緊の課題です。IoTやAI、ロボットなどの最新技術の導入により、従来の労働集約型からの脱却も求められています。このような状況下で新たな物流システムを構築するには、高度なロジスティクス人材が必要です。シンポジウムでは、ロジスティクス分野の展望と次代を担う人材の育成と確保について考えていきます。

## 【スケジュール】

- 13:00 開会あいさつ
- 13:10～13:50 基調講演  
テーマ：**総合物流施策大綱(2017年度～2020年度)の実現に向けて**  
講演者：重田 雅史 [国土交通省大臣官房物流審議官]
- 13:50～14:05 「流通経済大学ロジスティクス産学連携プログラム」の実施報告
- 14:20～15:55 パネルディスカッション  
テーマ：**高度なロジスティクス人材育成に向けての展望**  
パネリスト(五十音順)：  
秋田 進 [日本通運(株) 取締役常務執行役員]  
秋葉 淳一 [(株)ダイワロジテック 代表取締役社長]  
柿尾 正之 [柿尾正之事務所 代表(元(公社)日本通信販売協会理事)]  
五関 信之 [(公社)日本ロジスティクスシステム協会 主任研究員]  
早川 哲志 [(一社)日本物流資格士会 会長]  
山下 太 [花王ロジスティクス(株) 代表取締役社長]  
コーディネーター：矢野 裕児 [流通経済大学 流通情報学部 教授]
- 15:55 閉会あいさつ (16:00閉会)

## 流通経済大学プロフィール —ロジスティクスに関わる体系的な教育を行う大学—

流通経済大学は、1965年に開学したわが国唯一のロジスティクスに係る高等教育機関で「流通情報学部」と「物流情報学研究所」を含む5学部9学科5大学院研究科から成る社会科学系総合大学。開学当初より「実学主義」を教育理念に据え産学連携を推進し、2008年度には経済産業省の研究補助事業に採択され、ロジスティクス人材の養成を目的とする産学連携プログラムの検討を開始。2010年度には「ロジスティクス産学連携コンソーシアム」を設置し、以降「ロジスティクス実践講座」、「物流マネジメント実践講座」、「国際物流実践講座」、「ダイレクトマーケティング実践講座」、「ロジスティクス企業訪問講座」等の講座に加え、実務者を講師とする「日本通運寄付講座」、「全国通運連盟寄付講座」も開講するなど長きにわたりロジスティクス分野への人材輩出に努めている。

【日時】

2018年  
**2月9日(金)**  
13:00～16:00

参加無料

【会場】 アルカディア市ヶ谷(私学会館)  
3階「富士の間」  
〒102-0073 千代田区九段北4-2-25  
JR市ヶ谷駅徒歩3分



【定員】 250名

【主催】 学校法人日通学園 流通経済大学

【後援】 国土交通省

【協賛】 日本通運(株)、(一社)日本物流団体連合会、(公社)全国通運連盟、(一社)日本倉庫協会、(一社)航空貨物運送協会、(公社)日本ロジスティクスシステム協会

【申込方法】

申込締切：2月1日(木)

FAXまたはEメールでお申し込みください。

■FAXの場合：裏面の「参加申込書」をご使用ください。

■Eメールの場合：[logis@rku.ac.jp](mailto:logis@rku.ac.jp) 宛

※本文には、①お名前、②会社(学校)名、③所在地、

④電話番号(連絡先)をご記入ください。